

Mランドニュース Vol. 97

丹波ささ山校 平成27年4月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

《今月の言葉》

今日一日の生活、実行こそが人生のすべてである。この実行こそが、われわれに絶えざる希望と道を求めてやまぬ情熱を湧きたたせてくれるのである。

平澤 興先生のことば

タニサケ 会長 松岡 浩著

『一隅を照らす』より

おかえりなさい！

全国から多くのゲストをお迎えした三月、そんなにぎやかなMランドの中に、篠山の通学生も含め続々と卒業生が帰ってきてくれました。

尼崎から自動車であられた一月卒業の、大沼さん、大浦さん、網城さん。合宿中通過したミロで昼食を召し上がり、篠山の街に買物や温泉へとレッツゴー！夕方には楽しまれた報告にと再びMランドに。



近藤インストラクターと「ハイポーズ！」

また、名古屋から交代でレンタカーを運転し、やって来てくれた昨年三月卒業の見付さん、岩田さん、竹本さん、渡邊さん。

皆さんは昨年行なわれた「Mランドフェスタ」にも参加していただいております。この日は旅行の途中で会い

に来ていただきました。篠山から宿泊先、湯村温泉までの道案内だけの会話でも、大盛り上がりするので、あら、気心知れた間柄にあらためて感謝です。



名古屋からお越しの四名様

最後は神奈川県から昨年八月卒業された三名です。

「インストラクターの笑顔に元気をもらいました」と野澤さん。「第二の故郷篠山！嫌なこと全部忘れられる皆さんの笑顔に泣きそうでした(笑)」と白鳥さん。「久々に顔を見せたけど、温かく迎えていただきうれしかったです」と奥野さん。卒業旅行で篠山に宿泊するために帰ってきてくださり、近況の話に花が咲きました。

どの方もインストラクターのインターバルに時間を合わせていただいた短い再開でしたが、それだけ新鮮な時間で私たちこそ、元気をいただ

いたことはいまでもありません。



中野インストラクターと笑顔の白鳥さん

わずかな時間だけのために、遠くから卒業生が来てくれる幸せな教習所が全国でどれくらいあるでしょう。

そんな教習所づくりをこれからゲストと共に創ってまいります。

「ありがとうの集い」

三月十八日、篠山市立八上小学校で児童会並びに六年生が中心となって、今年度お世話になった地域の方々に感謝する「ありがとうの集い」が行なわれました。

当日、地元の歴史を教え、てくださる方、登下校の見守り隊の方々、書いた絵を校舎内に飾り、小さな美術館のようにしてくださいる方、小学校のホームページの作成をお手伝いしてくださいる方と共に、Mランドもお招きい

いただきました。毎月の「篠山掃除に学ぶ会」によるトイレ磨きと、昨年五月に行なった「六年生トイレ掃除に学ぶ会」によるものでした。六年生が役割分担し進行する中、心のこもった手作りの感謝状が、一人ひとりに手渡されました。



全校生の前でいただきました

いただいた感謝状の文中、

トイレ掃除を一所懸命すること、しんどいことをやりとげると、気持ちがあすきりして達成感が味わえることを知りました。

とありました。

あれこれと贈ることばを考えていましたが、このような感謝状を作った六年生に、このことば以上のことはいえませんが、集いの後、出席された皆さんとお茶をいただきながら、「生徒さんの気持ち嬉しく、こちらのほうが幸せな気持ちにさせ

いただきました」とお話ししました。

今月のありがとうカード

Mランド丹波ささ山校の皆様

2週間ありがとうございました。最初は不安ばかりで毎日帰りたと思っていましたが、インストラクターの方々をはじめ、Mランドの方々には親切で優しく、帰るのがとても寂しくなりました。この2週間で学んだことを忘れず、安全第一の運転を心がけていきたいと思います。譲る気持ちを常に持ち、日々精進していきます。ほんとうに大好きです。

星 柚帆 様

Mランド丹波ささ山校の皆様

合宿で2週間弱大変お世話になりました。最初はただ運転ができるようになればいいと思って来たのですが、気持ちよく挨拶をすることや相手を思いやって運転することなど、当たり前だけど忘れてしまっていたことを改めて学ぶ良い機会でした。住んでいる所もやっていることも年齢も異なる友人と一緒に生活しながら、普段では気付くことのできなかった人のあったかさに気付いて嬉しかったです。小学校で学んだけど忘れてしまっていた人として大切なことを思い出させてくれてありがとうございました。

3月29日 卒業生より

河合中学掃除に学ぶ会

三月十三日、小野市立河合中学校で「八年生トイレ掃除に学ぶ会」が行なわれました。「八年生?」。河合中学校は一つの中学校区に一つの小学校で、学校自体は離れているものの、平成十一年より小中一貫教育を推進され、中学一年生を七年生、二年生は八年生、三年生は九年生と呼ばれているのです。二回目となるこの会に、十二名のリーダーの一人として、今年も参加させていただきました。

始まりの会では、「長年のよこれが溜まった大変気合いのいる掃除になりますよ」と激があり、七班に分かれてさあ開始です。私は八名の生徒さんと男子トイレの便器を磨かせていただきます。まずは脱いだ靴をきれいにそろえ、『しゃべらない・便器をしっかりとつかむ・道具は丁寧に』を説明し、各自便器に向かいます。しかし、いざ掃除が始まると腰はひげ手は怖々でなかなか磨けません。そこでちょっと見本。躊躇なく素手で便器をしっかりと

りつかみ、磨けば落ちていくよこれに「おお!」と皆さん。これをお見せすると我もわれもと便器に向かわれ、お守りのように着用していたゴム手袋が破けてもお構いなしの様子でした。磨き方も人によって違いますがこれも個性で、他人と比べることなく黙々と目の前の便器を磨いておられます。



黙々と便器を磨く生徒さん



先生も便器と向き合います!

そんな中、ある生徒さんが私のところへ、「なかなか落ちないんですけど...」。「どれどれ」、「すごい!ここまで、

きれいになってるやん!」。自分では結果が出ず悩んでいたのに、「すごい!」と言われ、気を取り直して再びよこれと向き合われていました。



いろんな道具を工夫して!

限られた時間内ですべてのよこれを落とすことはできませんでしたが、掃除と同じくらい大切なことが、使った『道具』の後片付けです。道具を長持ちさせ、次の掃除を効率よくすることを目的にみんなで協力して行なっていました。

終わりの会での各班の感想発表では、

●リーダーと裸足でやって、靴下や靴のありがたさが分かった。

●よこれが落ちるのがとても楽しい。

●これだけしか取れないではなく、これだけ取れたと前向きに思う気持ちの大切

さ。

●道具の使い方によこれを落とす工夫ができた。

●掃除をしながら自分と向き合えた。

●時間がなく最後までできなかったのが心残り。

●自分の考え方を少し変えるだけで、こんなことが出来るのかと思った。

など、書ききれない思いを達成感に満ちた顔で発表されました。



終わりの会での「感想発表」の様子

掃除をお手伝いさせていただくのは、まさにこの感動に立ち会わせていただく嬉しさのためです。

後日、ご丁寧にお送りいただいた八年生の感想文を、微笑みながら拝読しました。

井本 徹

編集後記

四月に入り、Mランドで一喜一憂した多くのゲストも、今では学校や就職で環境も変わり、それぞれ新しい生活へとチャレンジしておられることでしょう。

運転免許を取得するため二週間過ぎたMランドで、免許を取得することだけでなく教習やボランティアを通して、「これからの人生を生きていく勇氣と希望」を与えられる教習所が私たちの理念でもあります。「失敗してもOK!上手いくためのステップ。そのままのあなたで良いですよ。元気に行ってらっしゃい!」と若者を送り出せる教習所であらねばなりません。

私たちも留まっているわけにはいきません。これからは「環境月」といい、施設の充実と職員のスキルアップを指して、各チームで趣向を凝らして取り組んでいく時期となります。

「杜の教習コース」の木々も鮮やかな新緑を見せ始めています。

(徹)

M-LAND 丹波さき山校

そうだ、Mランド 行こう!

「一笑懸命バイクを楽しもう」

最高のサービスとゲストに安心をお届けます。

『掃除に学ぶ会』のご案内

私たちと一緒にトイレを掃除しましょう。

4/19(日) 八上小学校 西トイレ
(Am 8:00~9:00)

4/26(日) 篠山中学校 運動場トイレ
(Am 8:00~9:00)

※参加していただける方は井本までご連絡ください。